

## 岩 手 県 金 融 経 済 概 況

### 1. 概 況

県内経済は、弱めの動きとなっている。

最終需要の動向をみると、住宅投資が前年を上回って推移しているものの、公共投資が低調に推移しており、個人消費も弱めの動きとなっている。この間、設備投資は、計画を大幅に下方修正する動きが広がっており、投資スタンスも慎重化している。

こうした中、生産は低下しており、雇用情勢は厳しさを増しつつある。

### 2. 最終需要

#### (1) 個人消費

個人消費は、所得環境の悪化などを背景に、弱めの動きとなっている。

#### (大型小売店売上高)

百貨店の売上高をみると、人気催事の効果もあって、食料品はほぼ前年並みながら、衣料品や身の回り品などが低調なことから、前年を下回って推移している。

スーパーでは、節約志向の高まりによる内食回帰の動きや値上げによる単価の上昇から、食料品はほぼ前年並みの動きとなっているが、衣料品や雑貨が不振なことから、全体では前年を下回る動きとなっている。

#### (家電量販店売上高)

家電販売では、薄型テレビの売上げが鈍化しているほか、冷蔵庫、洗濯機などの白物家電も買い換え需要が弱まっており、前年をやや下回る動きとなっている。

#### (新車登録台数)

11 月の新車登録台数は、貨物車が低調なうえ、普通車を中心に乗用車も前年を大きく割り込んだことから、全体でも前年を下回っている。

## (2) 公共投資

11月の公共工事請負金額は、8ヶ月連続して前年を下回った。

## (3) 住宅投資

10月の新設住宅着工戸数は、改正建築基準法施行の影響で大きく落ち込んだ前年の反動を主因に、4ヶ月連続して前年を上回った。

## (4) 設備投資

2008年度の設備投資計画(12月短観調査結果\*)をみると、受注の減少や収益の悪化を背景に、製造業を中心に投資の絞込みや先送りの動きが広がっており、前年度を大きく下回っている。

\*08/下期計画・前年同期比：製造業 67.6% < 前回調査比修正率 47.7% >、非製造業 38.1% < 同 15.6% >、全産業 65.4% < 同 45.0% >

## 3. 生産動向

生産は、輸出関連企業を中心に、受注の落ち込みを受けて、減産の動きが広がっている。

### (電子部品類)

電子部品・デバイスでは、海外需要の急速な落ち込みや半導体市況の低迷長期化などを背景に、減産幅を拡大する先が増えている。

### (輸送機械)

世界的な自動車販売の落ち込みを背景に受注が減少しており、完成車、自動車部品とも、操業度を引き下げる動きが見られ始めている。

### (一般機械)

建設機械部品では、新興国向けの需要が減少してきており、操業度を引き下げている。一方、半導体製造装置は、受注低迷から減産体制を強化しているほか、工作機械も国内の設備投資抑制に加え、新興国からの需要も減少してきたため、減産を強化している。

### (その他)

自動車向け需要の減少を背景に、鉄鋼の線材は、操業度を引き下げている。また、窯業・土石、木材・木製品は、公共工事、民間工事の減少から減産を続けている。この間、食料品は、パン、缶詰が横這い圏内で推移している。

#### 4. 雇用・所得の動向

雇用情勢をみると、輸出関連企業を中心に、派遣社員の契約を打ち切る動きが見られ始めており、厳しさを増しつつある。

10月の有効求人倍率（季節調整値）は0.49倍（前月：0.54倍）と6ヶ月連続して低下し、平成15年4月以来の0.5倍割れ。新規求人倍率（同上）も0.78倍（前月：0.81倍）と3ヶ月連続して低下した。

この間、雇用者所得は、所定外給与が大幅に減少していることなどから、前年を下回って推移している。

#### 5. 企業倒産

11月の企業倒産（負債総額10百万円以上）は、件数が4件（前年同月4件）、負債総額が3億87百万円（同8億40百万円）と、件数、負債総額とも今年最低となった。

#### 6. 金融面の動向

預金動向をみると、法人預金、公金預金が前年を下回っているものの、個人預金が堅調に推移していることから、全体では前年を上回っている。

一方、貸出動向は、住宅ローンが頭打ちとなっているものの、地公体向けが増加しているほか、法人向けにも動意が見られることから、全体では前年を上回っている。この間、貸出金利は、低下している。

以 上

本件に関する問い合わせ先 日本銀行盛岡事務所 TEL：019-624-3622（代） <a href="http://www3.boj.or.jp/morioka/">http://www3.boj.or.jp/morioka/</a>
---